

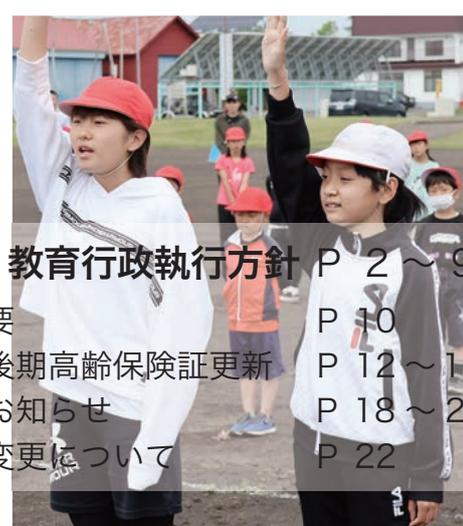
# Sarabetsu



5/27 更別中央中学校体育祭



6/11 更別小学校運動会



## 今月の主な内容

- ◆ 特集 村政執行方針・教育行政執行方針 P 2 ~ 9
- ◆ 6月補正政策予算の概要 P 10
- ◆ 国民健康保険税改定・後期高齢保険証更新 P 12 ~ 13
- ◆ 村のわだい・村からのお知らせ P 18 ~ 21
- ◆ 十勝バスの減便・時刻変更について P 22

## 表紙の風景

5月27日に中学校では体育祭が、6月11日には更別小学校で運動会が開催されました。なお、上更別小学校と認定こども園上更別幼稚園の合同運動会および高齢者運動会については17ページに掲載しています。

# 特集 令和5年度村政執行方針

## 教育行政執行方針

「住みたい 住み続けたい村」  
「働ける村 活力ある村」  
「訪れたい村 つながりたい村」

### ◆村政執行方針

令和5年第2回更別村議会定例会の開会にあたり村政執行の所信を申し上げ村議会並びに村民の皆様の深いご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は平成27年に村民の皆様温かいご支援を賜り村長に就任し2期8年間、公約に掲げた「住みたい 住み続けたい村」「働ける村 活力ある村」「訪れたい村 つながりたい村」を村づくり三原則に掲げ20年後も30年後も豊かで持続可能な村づくりの実現に向け、子育て支援や高齢者福祉の充実、基幹産業である農業の基盤整備、商工業の支援策の推進、また地方創生やデジタル田園都市国家構想など、様々な課題に取り組みでまいりました。

このたび3期目の重責を担う者として、これまで村民の皆様から賜りました多くのご意見や思いを受け止めながら、村政の運営に全身全霊で取り組む所存でございます。

昨年を振り返りますと、本村の基幹産業である農業は、6月以降の多雨により日照時間も短くなり、作物の生育

に大きく影響が出ることとなりました。しかしながらこのような状況にあっても長年にわたり培われた高い農業技術と懸命なご努力により127億の粗生産額を上げられましたことに、あらためて農業者・関係機関の皆様のご努力に敬意を表するものであります。

一方、ロシアのウクライナ侵攻に起因する原料産出国の輸出規制により、農業資材や肥料の高騰が続いており、酪農においても生乳の生産調整や飼料価格の高騰などにより農業経営が大きく圧迫されていることから、これらに対し国や道の支援と併せ村も関係機関と協力のもと必要な支援を講じます。

また、これからの農業生産基盤の安定化を図ることから、本年度から事業着手される国営かんがい排水事業新更別地区及びサラベツ川河川改修事業を推進してまいります。

更別スーパービレッジ構想については、デジタル田園都市国家構想推進交付金タイプ3に採択され、昨年10月から一部のサービスの実装を始めたこと

です。人と人のつながりを守りつつ、デジタルを活用し、心身ともに豊かに便利に暮らし続けられる地域を目指し引き続き事業を推進してまいります。

新型コロナウイルスにつきましては、感染症法上の位置付けが5類感染症へ変更され、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、その一方で、世界的なエネルギー・食糧価格の高騰、欧米各国の金融引締め等の海外経済やロシア・ウクライナ情勢の不透明感が強く、引き続き原材料価格の高騰や物価上昇など景気の下振れリスクが懸念されることから、引き続き流行状況を注視しつつ、アフターコロナに向けた動きを一段と進められるよう適切な対策を講じてまいります。

地方を取り巻く環境は、引き続き厳しいものがありますが、住民の皆様それぞれが、世代や分野を越えて幅広くつながり、生き生きと暮らせる更別村の実現を目指し、公約に掲げた村づくりの三原則「住みたい 住み続けたい村」では、子育て支援の充実をはじめとする教育・医療・福祉・住環境の整備、「働ける村 活力ある村」では、農業・商工業の振興、雇用機会の創出、「訪れたい村 つながりたい村」では、交流・関係人口の増加、観光資源の活用として、第2の道の駅の新設等の施策を与えられた任期の中で達成を目指すとともに、「第6期総合計画」のテーマである、「住みたい 住み続けたいまち」ともにつくろう みんなの夢大地」の実現に向け、全力で村政運営

に当たってまいります。

次に、令和5年度において取り組む各種施策につきまして、総合計画の基本計画で示す基本目標ごとに申し延べさせていただきます。

### 便利に生活できるまちづくり

#### ◆土地利用

自然や美しい景観を大切に、効果的な土地利用の調和を目指し関係法令や各種計画に基づいた土地利用を進めます。住民の生活や産業・経済活動を支える共通の基盤となる土地情報のデジタル化、オープンデータ化を進めます。

#### ◆住宅・宅地

令和3年度に分譲を開始した「新こゝろ二団地」は、25区画中21区画が契約済で住宅の建設も進んでいます。残り4区画の販売促進や、円滑な宅地供給を行えるよう新たな分譲地の造成を進め、また上更別市街の分譲地は、管理する民間事業者と連携を継続します。公営住宅は、居住性の向上や施設性能の維持を目的とした改修事業の実施により、適正な管理をします。

民間住宅は、ニーズに応じた建設促進事業や改修支援事業の助成制度を継続、誰もが住みやすい快適な住環境整備の促進と定住人口増加を図ります。

#### ◆上下水道

上下水道は、安全・安心な水道水の供給のため、水道施設の老朽化に対し計画的な更新を実施し、またエネルギー価格高騰の影響を受ける村内事業者の負担軽減を図るため、新型コロナウイルス

無人トラクター・SOBUS（イソバス）対応、デジタル牛監視モニターでの育成管理、作物の開花予測による収穫適期の最適化等、デジタルを活用した技術の実装により労働力不足の解消や生産性の向上に努めます。

また、ふるさと館の安定的な運用を図ることから、食品加工室の床改修を行い適正管理に努めます。

懸案事項であった上更別地域の排水対策について、国営かんがい排水事業新更別地区として国の予算も確保され必要な手続きを行い本年度からの円滑な事業着手に向け取り組みます。

また、1級河川サラベツ川の局部改修について調査設計が進められており、本年度からの工事着手等円滑な事業推進に努めます。

有害鳥獣による農作物被害の対策は「道営畑地帯総合整備事業」により鳥獣害防護柵の整備を進めるほか、農協と連携し、捕獲従事者育成や被害防止資材導入助成を行い、農作物等の被害防止に努めます。

担い手育成対策は、関係機関で構成する更別村農業担い手育成センターが主体となり後継者の育成支援を図るほか、農業研修生の育成に努めます。また、引き続き担い手推進員を配置し、相談窓口の開設や後継者のニーズに即したパートナー対策を推進します。

#### ◆林業

ゼロカーボン宣言を発した本村において二酸化炭素の吸収源となる山林の整備は重要な事業であり、併せて国土

### ◆公共交通

村内の公共交通は、交通弱者の移動手段として、市街地を循環運行する「村民バス」と農村地域のご自宅と市街地の間を運行する「更別村乗合タクシー」のサービスを提供し、また、更別スーパービレッジ構想では、昨年度より自動車運転のサービスを開始しています。今後、こうした新たな公共交通機関の利用方法やメリットについて住民の理解を深め、利用状況等を適切に把握し必要な改善を検討するなど村内公共交通環境のさらなる充実に努めます。

### ◆情報通信

通信技術は生活する上で必要不可欠なものとなり、更別スーパービレッジ構想推進事業においては更別市街地商店街を共助Wi-Fi（ワイファイ）による無料インターネットの利用が可能なエリアとしています。引き続き、デジタル田園都市国家構想推進交付金事業を活用し、通信網のメッシュ化、セキュリティにより村内で安全で安定

ルス感染症対応地方創生交付金を活用し、水道基本料金の減免を実施します。

### ◆排水処理

生活環境と公共水域の水質保全を図るため、公共下水道事業は、施設の劣化状況を確認する調査を実施、長寿命化に向け取り組みます。農業集落排水施設は維持管理計画を策定、より効率的な施設管理を実施し、また、個別排水処理施設は、農村部等における生活環境の改善と良質な水環境の保全を図るため事業を実施します。

### ◆道路

村道は、歩行者や通行車両の安全性・利便性の向上のため、適正な管理と計画的な改修、整備を進めます。

橋りょうは、点検調査の実施や計画に沿った改修により、安全に通行できるように長寿命化を実施します。

国道や道道における交通安全対策や維持管理等の懸案事項について、早期着手・完成となるよう引き続き国や道に対し強く要望します。



村長

の保全や水源の涵養、快適な生活環境の創出にもつながることから、森林環境譲与税を活用し、「公費造林等推進事業」を継続、森林所有者の施業意欲を高めながら森林の保全に努めます。

◆**商工業**

未だコロナ前の水準には戻らない中、資材高騰などにより、飲食店を中心に引き続き厳しい状況が想定されます。商工業事業者は、地域の雇用やコミュニティの形成に重要な役割があり、経営の持続化、安定化を図るため、今後も事業者の方々の声を聴きながら必要な支援等適宜対応します。

消費者の購買意欲の喚起と地元購買の推進のため「商工業活性化事業」を継続実施し、また、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響による消費の不振を抑制するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を活用し、全住民に生活応援クーポンを配布します。

消費者の利便性向上や地域経済活性化につながるキャッシュレス化を推進するため、デジタル地域通貨による地域ポイント制度の導入について、商工会、NPOサラリ、どんぐりスタンプ会とも連携し検討します。

◆**観光**

オートキャンプ場やふわふわドームを整備したパークゴルフ場、農村公園大型遊具のほか、すももの里、霧氷の撮影スポットなど自然の中で楽しめる観光の場があり、こうした本村ならではの観光資源を有効に活用すると共に、

医療や介護が必要となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、住民、事業者との連携・協働をデジタル化により強化しつつ、地域包括ケアシステムを推進します。

今年度より新たな取組として、介護職員の研修費用を助成する「更別村介護職員初任者研修等費用助成事業」を実施し、介護人材の安定的確保・資質向上を図ります。

◆**障がい者福祉**

健康相談や乳幼児健診での障がいの早期発見に努め、必要な支援が受けられるよう相談業務の充実を図り、各種支援制度活用や情報提供に努めます。

「第5期いきいきふれあい計画」に基づき、地域で自立した日常生活や社会生活を営めるよう、民間法人や関係機関・団体と連携し、高齢者・障がい者・子どもなど誰もが相互に個性を尊重したまちづくりを推進します。

障がい者等の住まいの場の整備は、引き続き自立支援協議会など関係機関と協議を進めます。

老人保健福祉センターロビーで開始したコミュニティカフェは本年4月より週4日の常設営業を開始、クローバーモアとの連携や、住民の交流の場、困りごとの相談など社会福祉協議会が主体となって事業の推進に努めます。

◆**社会保障**

国民健康保険の被保険者一人あたり療養諸費は全道でも有数の低さですが、医療の高度化や重症化後の診療等

に、特産品のPRや交流の機会として、本村ならではのイベントの継続した支援のほか、ナショナルサイクルートの指定を受けたトカプチ400に関連したサイクルツーリズムに関する取組等、関係人口の増加に努めます。

老朽化の著しいカントリーパークのパークゴルフ場は、スタート台を改修し施設利用者の快適度を高めます。

十勝スピードウェイを活用した新たなデジタル観光コンテンツの構築について、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し支援します。

◆**起業支援・雇用創出**

地方への企業進出の動きが活発化する中、更別スーパービレッジ構想の関係企業をはじめ企業の進出も増加しております。今後も継続的に企業誘致を推進します。

雇用対策は、企業等における人手不足を解消するため、無料職業紹介事業「地方版ハローワーク」を継続実施し、潜在的な就業希望者の掘り起こしや移住希望者と企業の結び付けを行うほか、「地元雇用促進事業」及び「外国人雇用対策事業」を継続して実施し雇用支援を行います。

◆**心身の健康を支えるまちづくり**

◆**健康づくり、保健**

疾病の早期発見と生活習慣病予防を積極的に推進し、心身ともに健やかに暮らせる村づくりを目指すため、特定健診及び若い世代を含めた各種健診の積極的な受診勧奨を行い、健診率の向

により医療給付費が増大、介護給付費も認定者数の増加で年々増大しています。各種健診の受診率向上や、生活習慣病予防への指導及び疾病の早期発見、早期治療、介護予防教室の充実にも努めることにより医療給付費や介護給付費の抑制に向けた取組を進めます。

◆**環境を守り安心かつ生活できぬまちづくり**

◆**防災**

令和3年7月の水防法改正に伴い、村内の河川が洪水浸水想定区域の指定対象河川に指定されたため、道が作成した「洪水浸水想定区域図」に避難場所等を記載したハザードマップを作成します。作成にあたっては、平成29年度に作成した「防災マップ」に掲載した内容も含め、高齢者の方にもわかりやすい、見やすいものとしします。

村の地域防災に関し、予防、応急及び復旧等の災害対策を実施するため、更別村防災会議設置条例の規定に基づき策定しています更別村地域防災計画について、平成29年度に内容を見直し

てから既に5年が経過しているため、法改正や防災基本計画、北海道地域防災計画の見直しを踏まえ、改訂に向けた作業を進めます。

◆**消防・救急**

老朽化した小型動力ポンプ付積載車を更新し消防車両の適正な維持管理による正常稼働を図り、火災、地震、風水害など災害に迅速かつ的確に対応できるように、消防署と消防団の連携によ

上を目指します。

母子保健事業は妊婦健診や乳幼児健診など各種健診事業のほか、新生児の聴覚検査費用助成を継続実施します。

村民の健康のため、乳幼児の各種予防接種、インフルエンザ予防接種の助成、風しん抗体検査などを実施します。

新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置づけが変更となりましたが引き続き拡大防止に努めます。

妊娠・出産・育児に関するワンストップ総合窓口である子育て世代包括支援センターでは、コーディネートである保健師のほか発達支援相談員、助産師、栄養士が妊娠期から子育て期にわたる不安や悩みなどに対応することにより、切れ目ない支援を実施します。

昨年より「ひやくわくサービス」として13種類のサービスを実装しています。利用者や関係者の皆様の声を聴きながら、サービス課題の解決とニーズに合ったサービスの構築に努めます。

◆**地域医療**

診療所では、医療法人北海道家庭医療学センターから医師4名、作業療法士1名、理学療法士1名の派遣を受けて運営しています。新型コロナウイルスや訪問診療患者の増加への対応、眼科領域の診療開始など、安定した医療環境の構築や安定した地域医療を継続していくため、家庭医療を担う医師の養成と確保の問題の改善のため、医師や医学生との研修に積極的な支援・協力をを行います。

地域の機動力向上に取り組めます。

救急需要増大への対応や救急業務の質の向上を図るため、医療機関との連携と救急救命士の処置範囲拡大に伴う認定救急救命士を計画的に養成し、救急業務高度化の推進に努めます。

更別スーパービレッジ構想において、救急搬送時の本人情報、特定健診、服薬データ、ヘルスケアデータを連携させ迅速・適切な救急対応を行います。

◆**交通安全・防犯**

十勝管内における交通事故の発生件数は、自動車安全技術の向上や事故防止対策の推進により減少傾向にありますが、死亡者数は未だに横ばいの状況が続いております。特に高齢者や飲酒運転は重大な事故となるため、今後も更別村生活安全推進協議会と連携し、継続的な街頭指導と交通安全教室等により啓発活動を実施します。

通学路及び生活道路の安全確保は、学校、警察や道路管理者等との連携により「通学路の合同点検」を定期的に実施し、子供たちが安心安全に移動できる歩行空間の確保や交通安全施設の維持改善に努めます。

防犯については、近年増加しているオレオレ詐欺などの特殊詐欺の防止対策や、子供たちがSNSやインターネット等の犯罪に巻き込まれないための意識づくりを推進するため、防犯教室などの啓発活動を実施し、さらに夏休みや歳末には防犯巡回指導等の地域安全活動を実施します。

◆**環境美化、ごみの減量化**

発熱患者への対応など診察室の不足を補うべく、診療所の増改修工事を実施し、施設の環境整備を図るほか、「待ち時間の少ない窓口」を目指し、マイナンバーカードや電子決済システムと連携したAI問診、診療予約、送迎手配、受診会計処理をワンストップで行えるセンターの構築に取り組みます。

地域包括ケアシステムの医療分野における役割を果たすため、患者情報共有ネットワークによる関係者の連携を図り、一人ひとりに寄り添った医療の展開に努めます。

◆**地域福祉**

地域福祉推進のため、地域を構成する各種団体、事業所、社会福祉法人等との連携に努め、体制づくりを進めるとともに、人材育成に取り組みます。

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の負担感が大きい低所得世帯への負担軽減を図るため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を活用した支援を進めます。

社会福祉センターは、災害時の緊急避難所に指定されているため、非常用発電設備を設置し、避難所の機能確保に努めます。

◆**高齢者福祉**

本村においても在宅介護のニーズへの対応が喫緊の課題のため、各種予防事業や健康教室、生きがいづくり等の介護予防に向け取組を継続するほか、個々のウェルビーイングの実現により健康寿命の延伸を図り、生涯現役で活躍できる環境づくりを進めます。

生活様式の変化や事業活動の増加に伴い、ごみの排出量も増加傾向にありますが、その処理費用は増大し、また自然環境の喪失や地球温暖化の原因にもなっております。本村においても、ごみの排出量は年々増加傾向にあるため、今後も適正な分別と効率的な収集にて減量化を図り、リサイクルセンターでは資源ごみの回収により再資源化を促進し、さらに更別村環境美化推進協議会との連携により「グリーン作戦」や「花いっぱい運動」等を実施し、清掃活動や環境整備に努めます。

近年増加している不法投棄への対策として、巡回パトロールの強化により自然景観の保全、環境美化に努めます。

◆**環境共生、火葬場**

国の成長戦略であるカーボンニュートラル脱炭素社会の実現に向け、地域の課題を解決し地域の魅力と質を向上させる地域創生を目的に、ゼロカーボンの実行計画を策定し、二酸化炭素排出量の削減及び再生可能エネルギーなどの利活用に取り組みます。

ゼロカーボンの実行計画では、再生可能な新エネルギーとして、太陽光発電のほか、蓄電池、電気自動車、水素利用など、様々な地域資源の利活用や、公共施設等へのコージェネレーションやヒートポンプなど省エネルギーシステム導入を検討し、さらに住民と共に脱炭素を推進するため、補助金制度の検討を進めます。

また、温室効果ガス排出量を削減するため、環境負荷の少ない製品の購入

や電気、燃料を節減し、省エネルギーの推進に努めます。  
火葬場については、休止できない重要な施設であるため、日常点検の徹底と必要に応じた修繕を実施し、適正な維持管理に努めます。

**人が育つまちづくり**

◆子育て支援

少子化や核家族化、情報化など、我が国においては経済社会の急激な変化を受けて、人々の価値観や生活様式が多様化している中で、子育てに関する環境も大きく変わってきており、次代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを村全体で応援するため、子育てに係る経済的負担の軽減や安心して子育てができる環境整備のための各種施策を推進することにより、子育てに喜びや楽しみを持てることができるような村づくりを推進します。

幼児教育・保育では、給食費の無償化を行うほか、3歳児以上の保育料無償化や多子世帯への保育料軽減事業の継続に加え第1子に対する保育料の2分の1の減免を行います。

食材の高騰が続いていることから、給食費の値上げは避けて通れない状況ではありますが、経済的負担に対する支援を行うため、新たに学校給食費の無償化事業を行います。

子どもを安心して生み育てられる環境づくりとして、子育てに関する相談ができる場や子育てをする家族同士が交流できる場の提供、また、認定こ

も園や地域子育て支援センターの運営事業を推進して行くほか、学童保育料の負担軽減を図ります。

更には、子どもたちの健全な育成を目的に実施している出産祝金と出産・子育て応援交付金、入学祝金の贈呈を継続するとともに、新たに高校生等入学支援金制度を創設、高校生を持つ保護者の経済的負担の軽減を図ります。

◆国内外交流

外国語指導助手を配置し、授業支援をはじめ様々な場での活動を通じて、国際感覚を身近に体感できる環境を一層構築します。

昨年度30回目の節目を迎えた東松島市との「どんぐり子ども交流事業」は、今年度、更別村の子供たちが東松島市に訪問する年となっており、事業を通じて引き続き絆を深めます。また、JICA（国際協力機構）との連携事業として気軽に国際感覚に親しめる環境を整備し、異文化交流を一層推進するため、事業の工夫・充実に努めます。

**知恵を出し合うまちづくり**

◆情報発信、移住促進

本村への移住に関心を持つ方への情報提供やサポートの充実に努めるとともに、村ホームページやSNSを活用して自然環境や暮らしやすさ、北海道・十勝らしいイメージなど、本村がもつ魅力の発信を図ります。また、空き地や空き家に関する情報収集の充実に努めます。

◆コミュニティ、協働のまちづくり

村長として3期目の重責を担うこととなりました。村政執行のリーダーとして、スローガンである「未来への思いをつなぐ村づくり」を肝に銘じ、自覚と責任、不退転の決意を持って、山積する課題解決に立ち向かい、村民の皆様とともに豊かな更別村の実現を目指して、全身全霊で取り組んで参る所存であります。

村議会議員の皆様、並びに村民の皆様の一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。村政執行方針といたします。

※続いて『教育行政執行方針』を掲載します。

**◆教育行政執行方針**

令和5年第2回更別村議会定例会の開会にあたり、令和5年度の更別村教育委員会の所管行政の執行に関する基本的な方針について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発生から3年が経過し、感染症法上の位置付けがようやく引き下げられるまでに至りました。教育活動においても多くの影響が出ることとなりましたが、学びの保障と感染症対策の両立に、地域・保護者・関係者の皆様のご理解とご支援をいただきましたことに対し、心より感謝を申し上げます。

様々な制約がある中で社会・経済活動は大きく様変わりし、更にはロシアによるウクライナ侵攻が長期化する中、先行きの見通せない国際情勢下

住民の自主的、自発的な活動を推進するため、地域活動を担う人材の育成とともに行政区や各種団体への活動支援により、コミュニティ活動の推進に努めます。

コミュニティ活動の拠点となる行政区会館は経年劣化の老朽化状況により計画的に改修工事を実施し、適切かつ経済的な維持管理に努めます。

行政運営は、住民の参画を推進し、住民が主体となる「住民協働パートナー事業」や、地域活動を促進する「協働のまちづくり事業」により、住民と行政が力を合わせる「まちづくり」に取り組みます。

人材育成事業は、地域の発展に資する様々な分野の学びを提供するほか、起業や創業に関連する専門的な研修の場を提供することにより、地域の担い手づくりに取り組みます。

地域創造複合施設は「街なか交流館manaca」「農村公園大型遊具」とともに更別市街地の賑わい創出の一翼を担う拠点施設として良好な環境を整えるため外構整備を進めます。

◆青年、男女共同参画

結婚や家庭を築く意識の醸成を図るとともに、結婚に伴う経済的負担を軽減するため、国の地域少子化対策重点推進交付金を活用した「更別村結婚新生活支援事業」を継続します。

◆広報・広聴

広報紙やホームページ、SNSなどにより、住民のニーズに寄り添った情報を発信し、村民と行政が一体とな

たまちづくりに取り組みます。

住民と行政が「まちづくり」を共に考え、意見や知恵を出し合う場として、行政区懇談会や出前宅配便等を実施します。

◆行政運営、財政運営

限られた職員数で多様化する行政ニーズや社会情勢の変化に対応するため、職員の定年年齢引上げを踏まえた計画的、中長期的な職員の採用に努め、将来の組織を支える人材を確保しつつ適切な定員管理に努めます。

また、行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスのさらなる向上に繋げていくことが求められていることから、国が策定いたしました自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画に基づき、北海道自治体情報システム協議会とも連携を図りながら、情報システムの標準化・共通化、行政手続きのオンライン化の推進に取り組みます。

行政DXについては、デジタル技術やデータの活用等により、行政サービスをより住民の利便性が向上するものと変革することを目指します。政府が掲げるデジタル社会の目指すビジョンにおいても住民の利便性向上や自治体の業務の効率化などを目的とした地方行政のデジタル化を推進する各種施策に取り組みこととされており、より優位な財源を活用したデジタル推進を

本村教育の充実・発展に取り組む所存であります。

**学校教育の推進**

◆小・中学校教育の充実

子供たちの基礎的知識や技能の習得はもとより、社会的変化を乗り越える力を身に付けることができるよう、校内情報通信設備を効果的に活用し学習意欲の向上や情報活用能力の育成を図り、個別に最適な学びを実現する、誰一人取り残すことのない「令和の日本型学校教育」を一層推進します。

全国学力・学習状況調査については、ほっかいどうチャレンジテストと併せて継続的な検証改善サイクルを確立し、授業改善に取り組みます。

中札内村と共同設置の学校教育指導主事は、専門的事項の指導に極めて重要な役割を果たしていることから配置を継続し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や、教科等横

の蔓延で、稀薄となった人々の絆を、今一度取り戻し、村民が力を合わせ、躊躇することなく、未来に向かって前進することが強く求められています。

依然として人口減少や少子・高齢化の厳しい嵐が吹き荒れ、目まぐるしく変化する社会情勢や気候変動の中にあ



断的な視点から教育課程の編成・実施を図り、生きる力の育成を推進します。

外国語教育は、令和3年度より中札内村との共同加配の専科教員を配置しその取組は全国にも発信されています。今年度からは外国語指導助手を全ての授業時数に配置し、小学3・4年生では外国語に親しみ基本的な表現などの定着を図り、5・6年生では言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能の育成を図ります。

SDGsで掲げる目標はもとより、村のゼロカーボン宣言に基づき、学校教育活動の中で環境教育を引き続き行い、環境やエネルギー問題、気候変動対策への意識を醸成します。

子供たちの心身の健康を保持増進し、資質・能力を育成するため、全国体力・運動能力、運動習慣等調査並びに新体力テストの結果を分析、課題に対応した体育授業の充実・改善と、運動習慣の定着に向け取組を推進し、家庭や地域と連携した運動習慣・生活習慣定着を図ります。

特別な支援を必要とする子供たちに寄り添い持てる力を高めるため、各学校に特別支援教育支援員を継続配置し、自立と社会参加に向けた主体的な取組を支援、いじめ等の未然防止、適切な実態把握による積極的な認知と早期発見を基本に、組織的かつ迅速な対応に取り組みます。

児童、生徒、保護者、教職員が抱える様々な課題の解決に向け助言等を行う

切に対応します。

交通事故や学校事故、不審者による事件を未然に防止するため必要な措置を講じるとともに、関係機関と連携し、学校・家庭・地域一体で尚一層の安全対策を進めます。

◆高等学校の入学時の支援について

本村では小学校及び中学校入学時に、入学祝金を贈呈していますが、新たに高等学校等に入学した生徒の保護者を対象に支援金事業を設立、保護者の負担軽減及び生徒の健全な育成を助長します。

社会教育の推進

◆学習環境の充実

未来を担う夢を持った子供たちが自ら考え創造する力を養い、健全な育成に資することを目的とした「こども夢基金」事業やプログラミング教育・青少年教育の体験事業の「さらべつ放課後子ども基地」、感受性や自己実現のきっかけ作りとなる「青少年劇場」を継続し健やかな成長を支援します。

グローバル化が急速に進む現代社会では異文化と触れ合い、学びを得、広い視野で物事を測り、自主的に行動していくことが大切なため、今年度小中学校に配置しました外国語指導助手(ALT)を中心に、各幼稚園での交流活動、国際交流講座、関連イベントを継続するとともに、JICA(国際協力機構)との連携事業により、国際感覚へ身近に親しめる環境を構築するため、事業の創意工夫に努めます。

うためスクールカウンセラーを継続配置するとともに、複数人体制による相談対応の充実を図ります。

教職員が本来やるべき業務に集中し、健康で生き生きとやりがいをもつて勤務できる学校、無理なく働ける魅力ある職種とするため、「学校における働き方改革更別村アクション・プラン第2期」に基づき、業務負担の縮減、ICTの積極的活用、意識改革の促進などを更に進めるとともに、集中改革期間に入った部活動の地域移行促進、校務支援システム更新による業務の効率化など、必要な措置を加速します。

5年目となる更別村コミュニティ・スクールは、現在45の事業所・企業・団体、22名の皆様が「みんなの学校応援団」へ登録され様々な分野で学習活動へのご協力をいただいています。目指す子供の姿を示した「更別村コミュニティ・スクールアクションプラン」の具体的な取組に向けたコーディネートの一環としての活動のもと、学校運営協議会、児童会・生徒会、コミュニティ・スクール委員会での熟議を行っており、地域全体で子供たちを育てる機運を一層推進します。

耐力度調査の結果をはじめ、他の公共施設や財政状況を考慮し検討中の中学校校舎整備については、各学校の全体的な状況等も視野に入れ、改修か、改築か、小中一体型の校舎の整備がいいのか検討を進めます。

学校施設設備は、トイレの洋式化やエアコンの導入について、財政状況を

新型コロナウイルスの影響により2年間で中止してしました東松島市との「どんぐり子供交流事業」は昨年度再開することができ、30回目の節目を迎えたところです。子供たちのかけがえない体験の機会を今後も継続し事業を通じて両市村の絆を更に深めます。

地域の課題を解決し発展し続けるためには、責任ある行動のもと、新たな価値を創造し調整能力に優れた青年層の育成が不可欠なため、中核的役割を担う青年層の育成事業を継続します。

人生100年時代、超スマート社会に向けて社会が大きな転換期を迎える中、生涯学習の重要性は益々高まってきております。住民一人一人が生涯を通して学ぶことのできるきっかけづくりとして、学習需要や生活課題を掘り起こした社会教育講座を開講し、学習機会の提供を図ります。

高齢者教育では、地域社会や同好の士と活動を共にし、人間関係の形成や交流の場となっている「末広学級」を継続して開設致します。学級生は減少傾向にありますが、必要とされる学習のニーズと学習内容のマッチングに努め、時代に即した事業を展開します。

◆文化・スポーツ活動の振興

文化活動では、文化協会加盟団体、郷土芸能伝承活動団体への支援を継続して行い、活動の持続的発展と活性化を促すとともに、新型コロナウイルスの影響と推察されますが、近年申込みの無かった文化振興公演事業の開催に向け、積極的にPRを図ります。

踏まえ複数年に分け整備を進め、管理状態が好ましくなかった学校グラウンドは、体制を強化し適正に管理します。

◆幼児教育の推進

人格形成の基礎を培う重要な時期であることから健やかな成長に資する良好な環境を整備し、幼児期にふさわしい生活が展開されるよう幼児と共に良い教育環境を創造し、発達や特性に応じた指導改善や小学校以降の教育・学習との繋がりを見通しながら、家庭や地域の期待に応える豊かな幼稚園教育となるよう進めます。

◆学校給食の推進

学校給食は、心身の健全な発達に適切に食に関する正しい理解と適切な判断力を養う重要な役割を果たすため、文部科学省が定める学校給食摂取基準を踏まえ、多様な食品を適切に組み合わせバランスの良い献立作成はもとより、栄養教諭による食に関する指導を効果的にを行い、食事の大切さや食事の仕方について理解を深めます。

地元で生産される安全・安心な食材を利用することで、生産過程への理解や食育を推進する「ふるさと給食助成事業」や多子世帯の経済的負担軽減を目的とする「学校給食費保護者負担軽減事業」を継続し、食材高騰により給食費の値上げが避けられない中、子育て世帯への支援を行うため、新たに「学校給食費無償化事業」を実施します。

また、現行衛生基準に適合しておらず、施設・設備の老朽化で安全安心な給食提供に不安を抱える学校給食セン

他の事業と同じく、新型コロナウイルスの影響により中止を余儀なくされてきました総合文化祭芸術発表会は、昨年度3年ぶりに開催の運びとなり、開催に尽力されました関係各位のご努力に敬意を表すとともに、ステージで躍動する出演者の姿に感動を禁じ得なかったところであります。各団体の活動成果発表の場は無くしてはならないものと改めて認識した次第であり、今後とも事業の推進に支援を行います。

「総合誌さらべつ」は昨年度で43号の発行となりました。多くの皆様のご協力により継続して発行できておりますことに感謝を申し上げますとともに、様々な視点によりご寄稿いただいております、本村の貴重な文化資源として重要な役割を果たしていることから、今年度も発行へ向け取り組みます。

改善センター図書室は、購入図書を精選し適正な管理を行い、限られたスペースを有効に活用しながら、様々な年代の方が気軽に図書と触れ合える場の提供に努めるとともに、他図書館との相互貸借制度の活用を継続し、当図書室に蔵書が無くとも利用できる体制を引き続き整えます。また、子供たちを図書を身近に感じてもらうよう、上更別小学校や上更別こどもセンターでの移動図書をはじめ、図書室での読み聞かせ事業や図書室まつりなどのイベントを継続実施し、幼少期から本に親しむ機会を設けます。

北海道指定天然記念物ヤチカンバは、一昨年度の保護地域内現況調査で

ターは、望ましい給食施設へ早急に移行する必要があることから、改築に向けた基本設計業務を実施します。

◆更別農業高等学校への支援

昨年度、創立70周年の節目を迎えた同校でスクールプロジェクト活動の草花分会を中心に生徒・教職員が一丸となり企業の協力を得て先端技術を活用し、学校農場に見事なひまわりアートを完成させたことは、記憶に新しいところです。スクールプロジェクト活動は、表現力・企画力・実践力を身に付けるため積極的な活動を展開し、地元の農畜産物や新たな作物での栽培・加工の取組、企業との特産品共同開発や村の魅力発信など、幅広い活動を展開しています。その成果が農業クラブ全国大会49回連続出場という偉業にも表れており、村内幼稚園・小中学校の教育活動への協力など、多方面から高い評価を得ているところです。

本村にとって重要な存在である同校の維持・発展へ向け、継続して教育振興の支援を行います。

◆子供の安全について

大規模な自然災害など、有事下における子供たちの安全確保は最優先事項であることから、各学校における防災計画の更新整備、安全教育、避難訓練の実施、教職員の防災対応能力向上など、非常時に即応できる体制を常にアップデートします。

新型コロナウイルス感染症については、感染症法上5類に引き下げられたことを受け、国・道の取扱に準じ、適个体数の減少傾向が顕著に見られたことから、今年度も有識者のご協力を得ながら、保護優先区画設定、支障植物防除、植生再生試験を実施し、貴重樹種の保護対策を進めます。

スポーツ活動では、社会教育事業や文化活動と同様に新型コロナウイルスの影響により、体育連盟加盟団体が実施する各種大会が3年の間ほとんど中止せざるを得ない状況でしたが、感染症法上の類型が変更されたことで、活動の再開が期待されることであります。心身の健全な発達を促し、体力向上をはじめ、達成感や精神的充足を図ることのできるスポーツは大変意義深いものがありますので、各団体の自主的な活動に対して支援を行い、村民誰もが元気に生き活きたした生活を送れるよう、改めて生涯スポーツの振興を推進します。

各社会体育施設は、利用に支障が生じないよう適切な維持管理に努めます。また、今年度より柔剣道場、農業者トレーニングセンター、コミュニティプールを指定管理者による管理へ移行してあります。民間のノウハウを得て施設の有効利用を図り指定管理者と連携しながら村民の皆様健康増進機会の拡大に努めます。

以上、教育行政の基本的な考え方を申し上げます。村議会議員各位並びに村民の皆様のお一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。教育行政執行方針と致します。

スーパービレッジ構想

100歳までワクワク  
世代を超えてみんながつながり合う  
幸せな地域 更別村

◆サテライトオフィスの愛称決定表彰式を実施しました

3月に完成したサテライトオフィスの愛称が50件の応募のうち吉田定弘さんが応募した『さらら』に決定！6月13日に『さらら』で表彰式が実施されました。

授賞式には妻の明子さんが代理出席。「更別のさらを特産品のすももの3文字にあわせ『さらら』としたらどうだろう、と娘が提案してくれました」と応募したエピソードを披露。また、「サテライトオフィスの外観が黒い色なので、『さらら』という明るい響きで、もっと親しまれる場所になればと思います」と話してくれました。西山村長は「親しみやすい名前を考えていただきありがとうございます。村民に親しまれる場所になるよう村としても頑張っていきます」とあいさつし記念品を贈呈しました。



左から合同会社社員山内優也氏（ティー・ワイ専務）、西山村長、吉田さん、同社今井母土子代表、同社社員太田雄基氏（ヤマジヨウ専務）

◆更別健康プログラムが新しくなります



これまで健康増進室で実施していた『更別健康プログラム』が、7月より名称、内容、場所を変更し開催となります。

- ◆名称：(仮)健康運動教室
- ◆日時：7月12日(水)開始。以降は、毎週水曜日に開催。  
※曜日の変更の可能性があります。
- ◆料金：ご利用には別途料金がかかります。  
※ひゃくワクサービス加入者には割引などの特典があります。
- ◆場所：サラパークまたはトレーニングセンター
- ◆担当：オカモト(☎52-3455 サラパーク)  
※申込方法など、詳細は担当までご連絡ください。

●問い合わせ  
企画政策課スーパービレッジ推進室 ☎52-5252  
Social Knowledge Bank (ソーシャルナレッジバンク) 合同会社 ☎070-8839-7762

コミナス通信 vol.13

コミュニティナースが住民のみなさんと  
関係づくりを進めています。

昨年村に移住し、村が掲げる“100歳までワクワク働けてしまう奇跡の農村”を作るべく、高齢者の方々の“楽しい”や“嬉しい”の瞬間を一緒に過ごしています！コミュニティナース(以下「コミナス」という。)は医療資格に関わらず、暮らしの中で誰もが誰かの元気を応援できるつながりを“つくります”。

「さらら」前に植栽しました

花いっぱい運動で余ったお花をいただいたので、歩道沿いの花壇を耕し花を植えようとしていると、村民の方が通りかかり手伝ってくださいました。アドバイスもたくさんいただきながら、2日かけて芝と雑草を除草し、きれいなお花を植えることができました。植物を育てることは初心者の私たち。村民の皆さんのお知恵を借りながら、長く楽しめるようにお世話していきます。引き続き、オフィスの見学も大歓迎です。外出などで不在の場合もありますので、お立ち寄りの際は、事前にご連絡いただければと思います。



左から いまむー・やや・ゆみ です

シルバーの花壇づくりのお手伝い

屋内ゲートボール場横にある畑で、シルバーハウジングの方の花壇づくりに参加させていただきました。晴天の中、入居者の方、更別農業高等学校の生徒の皆さんと一緒に花苗300株を植えました。あっという間に花壇が完成し、皆さんの手際の良さに圧倒されました。その後は、シルバーハウジングの団らん室へ移動し、自己紹介など、和気あいあいと交流を行い、楽しい時間を過ごしました。

●問い合わせ  
企画政策課スーパービレッジ推進室 ☎52-5252  
コミュニティナース更別事業所 ☎070-7568-2493

新規事業も実施しますので、お知らせします。



令和5年度一般会計補正予算(第3号)の概要  
政策予算の概要をご紹介します。なお、各事業の詳細な内容や実施時期については、広報、ホームページまたは該当となる方へ文書などで直接お知らせします。

6月補正  
政策予算

歳入

◆学童保育所入所者費用徴収金の減額

令和5年4月分にさかのぼり、学童保育所入所者費用徴収金の1/2軽減を行います。児童一人月額5,000円が2,500円になります。

◆新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した各種事業推進

原料高騰、価格高騰の影響から新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、事業者の水道料金の減免、低所得世帯への給付金の支給、また、今年度もさらべつ生活応援クーポン券発行事業を行います。

◆デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用

デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、十勝スピードウェイで実施する地方創生テレワーク事業の推進や各種事業の実装が開始している更別スーパービレッジ構想推進事業の実装を図ります。

◆まち・ひと・しごと創生寄附金の活用

企業版ふるさと納税「まち・しごと創生寄附金」を活用し、現在、各種事業の実装が開始している更別スーパービレッジ構想推進事業の更なる推進を図ります。

歳出

総務費

◆地方創生テレワーク事業

十勝スピードウェイの3D化による観光誘客事業への助成を行います。

15,000千円

総務費

◆更別スーパービレッジ構想推進事業

自動運転、スマート農業、情報基盤整備等に係る事業への助成を行います。

237,730千円

民生費

新規事業

◆児童福祉事業経費

公定価格改定、入所園児数増による増額補正のほか、令和5年4月分にさかのぼり第1子保育料1/2軽減事業(新規)を行います。

11,896千円

民生費

新規事業

◆給食主食費無償化事業

令和5年4月分にさかのぼり、幼稚園、認定こども園の給食主食費の無償化を行います。

1,042千円

衛生費

◆地域脱炭素化促進事業

地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定委託を行います。

11,872千円

農林水産業費

◆農業振興基金積立金

国営事業の償還に備えるため、基金の積み増しを行います。

29,000千円

農林水産業費

◆ふるさと館維持管理経費

ふるさと館の修繕および食品加工研修室の冷蔵庫等の更新を行います。

10,297千円

農林水産業費

◆畜産クラスター事業

飼料価格高騰支援として、経産牛1頭あたり1,500円等の助成を行います。

3,780千円

商工費

◆新型コロナウイルス感染症対策事業

商店街活性化事業としてさらべつ生活応援クーポン券発行事業への助成を行います。

17,337千円

土木費

◆道路改良舗装事業

村道舗装強化工事、市街地歩道改修工事、市街道路改良舗装工事を行います。

49,732千円

教育費

新規事業

◆高校生等入学支援事業

高校等に入学した生徒を扶養する保護者を対象に入学支援金の支給を行います。対象は今年度入学からです。

2,913千円

教育費

新規事業

◆給食費無償化事業

令和5年4月分にさかのぼり、小学校および中学校の学校給食の無償化事業への助成を行います。

10,415千円

# 後期高齢者医療制度のお知らせ

## 保険証(被保険者証)などの 一斉更新について

### ■ 保険証が更新されます

現在ご使用いただいている保険証の有効期限が令和5年7月31日で満了となるため、8月以降は使用できなくなります。

新しい保険証は7月中に送付します。お手元に届きましたら、現在の保険証(オレンジ)を破棄し、新しい保険証(黄色)をご使用ください。

- 新しい保険証の有効期限は、令和6年7月31日です。
- 紛失したときや、汚れたときは再交付しますので、保健福祉課国保介護係までお申し出ください。

新しい保険証の色は黄色です →

### ■ 減額認定証や限度証も更新されます

現在ご使用いただいている減額認定証(限度額適用・標準負担額減額認定証)や限度証(限度額適用認定証)の有効期限は令和5年7月31日で満了となるため、8月以降は使用できなくなります。

引き続き交付の対象となる方には、7月中に保険証とともに送付します。8月1日以降は現在の減額認定証や限度証(水色)を破棄し、新しい減額認定証や限度証(黄緑色)をご使用ください。有効期間は、1年間です。

減額認定証や限度証は、1回のみ送付となり、有効期限は令和6年7月31日です。なお、次の要件に該当し、新たに減額認定証や限度証が必要となる方は、保健福祉課国保介護係へ申請してください。8月以降も随時受け付けをしています。

#### ◆ 減額認定証の交付対象

「区分Ⅰ」または「区分Ⅱ」に該当する方

|     |  |
|-----|--|
| 区分Ⅱ | 世帯全員が住民税非課税で区分Ⅰに該当しない方   |
| 区分Ⅰ | 世帯全員が住民税非課税の方で、下記のいずれかに該当する方<br>◇世帯全員の所得が0円の方<br>※公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下の方<br>※給与所得がある場合、その金額から10万円を控除<br>◇老齢福祉年金を受給されている方 |

#### ◆ 限度証の交付対象

次の3区分のうち、「現役並みⅠ」または「現役並みⅡ」に該当する方

|       |   |
|-------|---|
| 現役並みⅢ | 住民税課税所得が690万円以上の被保険者と、その方と同一世帯にいる被保険者の方                     |
| 現役並みⅡ | 「現役並みⅢ」に該当せず、住民税課税所得が380万円以上690万円未満の被保険者と、その方と同一世帯にいる被保険者の方 |
| 現役並みⅠ | 「現役並みⅢ」「現役並みⅡ」に該当しない3割負担の方と、その方と同一世帯にいる被保険者の方               |

新しい減額認定証や限度証の色は黄緑色です →

●問い合わせ  
保健福祉課国保介護係 ☎ 53-3000  
北海道後期高齢者医療広域連合 ☎ (011)290-5601

後期高齢者医療被保険者証  
有効期限 ○○年 7月31日  
交付年月日 ○○年 7月 1日  
被保険者番号 01234567  
住所 広城市連合町1丁目  
氏名 広城 太郎 男  
生年月日 昭和 7年 7月 7日  
資格取得年月日 平成20年 4月 1日  
発効期日 平成20年 4月 1日  
一部負担金の割合 1割  
保険者番号並びに保険者の名称及び印 390110000  
北海道後期高齢者医療広域連合 公印(朱)

後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証  
有効期限 ○○年 7月31日  
交付年月日 ○○年 8月 1日  
被保険者番号 01234567  
住所 広城市連合町1丁目  
氏名 広城 太郎  
生年月日 昭和 7年 7月 7日  
発効期日 ○○年 8月 1日  
適用区分 区分Ⅱ  
長期入院該当年月日 ○○年 8月 1日 保険者印  
保険者番号並びに保険者の名称及び印 390110000  
北海道後期高齢者医療広域連合 公印(朱)

後期高齢者医療限度額適用認定証  
有効期限 ○○年 7月31日  
交付年月日 ○○年 8月 1日  
被保険者番号 01234567  
住所 広城市連合町1丁目  
氏名 広城 太郎  
生年月日 昭和 7年 7月 7日  
発効期日 ○○年 8月 1日  
適用区分 現役Ⅱ  
保険者番号並びに保険者の名称及び印 390110000  
北海道後期高齢者医療広域連合 公印(朱)

## 令和5年度保険税率の改正内容

広域化にともない、資産割は令和8年度までに廃止することが求められていることから、資産割廃止に向け、令和3年度の税率から段階的に、令和4年度は3分の2、令和5年度は3分の1に引き下げ、令和6年度より廃止する予定です。また、この資産割廃止により、北海道に納めるための納付金に必要な保険税の不足見込み分を補うため、保険税率などの引き上げを行っています。今年度納付分の国民健康保険税の納付書は7月10日より順次送付予定ですので届きましたら期限までに納付ください。

国民健康保険制度の運営は、「都道府県が市町村とともに国民健康保険の保険者」となって財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保などの国保運営に中心となる役割を担うことで制度の安定化を目指すことを目的に法律改正が行われ、平成30年度から北海道における広域運営となつていきます。このため、村民の皆さんが納めた保険税は、北海道に納付金として納めており、北海道運営方針により、市町村間での異なる取り扱いを統一していく目的から、令和4年度より段階的に国民健康保険税を引き上げることとしています。

「互いに助け合い支えあう」国民健康保険制度を将来にわたり安定的に継続していくために、村民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

令和5年度の改正内容は、下記のとおりとなりますので、ご確認いただき、ご不明な点は、住民生活課税務係または保健福祉課国保介護係までお問い合わせください。

## 国民健康保険税の 税率が変わりました

### ● 保険税率の改正

| 区分<br>(対象者) | 医療保険分    |      | 後期高齢者支援金分 |        | 介護納付金分       |       |
|-------------|----------|------|-----------|--------|--------------|-------|
|             | (加入者全員分) |      | (加入者全員分)  |        | (40歳以上65歳未満) |       |
|             | 改正前      | 改正後  | 改正前       | 改正後    | 改正前          | 改正後   |
| 所得割率        | 3.5%     | 4.0% | 2.0%      | 2.03%  | 0.65%        | 0.70% |
| 資産割率        | 10%      | 5%   | 3.3%      | 1.7%   | 2.4%         | 1.2%  |
| 均等割額        | 23,000円  | 変更なし | 6,000円    | 6,100円 | 7,500円       | 変更なし  |
| 平等割額        | 27,000円  | 変更なし | 6,000円    | 6,200円 | 6,000円       | 変更なし  |

### ● 賦課限度額の改正

| 区分<br>(対象者) | 医療保険分 |      | 後期高齢者支援金分 |      | 介護納付金分 |      |
|-------------|-------|------|-----------|------|--------|------|
|             | 改正前   | 改正後  | 改正前       | 改正後  | 改正前    | 改正後  |
| 賦課限度額       | 65万円  | 変更なし | 20万円      | 22万円 | 17万円   | 変更なし |

●問い合わせ  
住民生活課税務係 ☎ 52-2112 保健福祉課国保介護係 ☎ 53-3000

●問い合わせ  
産業課商工労働観光係  
(ふれんど館内)  
☎ 52-2211

**A** 郷土資料展示に関するご質問にお答えします。

ふるさと館ロビー内のスペースに、先人より使い込まれた道具・日用品を郷土資料として展示しておりますが、窓から差し込む直射日光により、表示プレートに日焼けなどが見られることから、資料への影響も考えられます。

今後は、展示スペースへの日照の調整などを検討し、長期間にわたって資料を保存できるように考えてまいります。

**Q** ふるさと館に展示されている郷土資料に痛みが散見される(特に西陽の当たる窓側)ため、展示方法を工夫してはどうでしょうか。

声のテーブル  
広聴はがきをいただきました

# 更別消防署からのお知らせ！ 熱中症を予防し夏を元気に過ごそう！

これから本格的な夏が始まります。気温が上がり、熱中症になる方が増えてきますので、知識を身につけ、熱中症を予防しましょう。

熱中症は  
予防が大切



## 熱中症とは？

高温多湿の環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。  
屋外だけではなく室内でも何もしない時でも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

## 熱中症の症状は？

めまい、立ちくらみ、生あくび、大量の発汗、のどの渇き、筋肉痛、こむら返り、頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感などや、返事がおかしいなどいつもと様子が違う場合、また、重症になると痙攣や意識消失、高体温など、さまざまな症状があります。

## 熱中症かなと思ったときは？

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など、涼しい場所へ避難しましょう。衣服を緩めて体を冷やし（特に首周りや脇の下、足の付け根など、太い血管が通っている場所）、水分と塩分や経口補水液などを補給しましょう。

## 熱中症を予防するためには？

室内では、扇風機やエアコンで温度調整し、遮光カーテンやすだれ、打ち水を利用しましょう。  
外出時は、日傘や帽子を着用し、こまめに休憩を取りましょう。

また、天気の良い日は日中の外出をできるだけ控えましょう。  
体の蓄熱を避けるため、通気性がよく吸湿性・速乾性のある衣服を着用し、保冷剤や冷たいタオルなどで体を冷やしましょう。

## 暑さに備えた体づくりと日頃からの体調管理を！

- 日頃から次のことを心がけましょう。
- 暑さに備え、暑くなり始めの時期から、無理のない範囲で適度に運動（「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度）
- 定時の体温測定と健康チェック
- 無理せず自宅で静養

## マスクを着用するときは？

マスクを着用している場合には、次のことを心がけましょう。

- 体に負担のかかる作業や、激しい運動は避けましょう。
- のどが渇いていなくても、こまめに水分補給しましょう。
- 気温・湿度が高いときは、特に注意しましょう。

## 問い合わせ

とかち広域消防事務組合更別消防署 警防係  
52・2201

# 更別消防団春季消防演習を実施！

消防団は、団員の皆さんがそれぞれ本業を持ちながら、災害が発生したときに活動する消防組織で「地域を守る」という精神で成り立っています。

5月26日、晴天のなか、更別運動広場で更別消防団の春季消防演習が実施され、演習には55名の団員が参加しました。消防団員の皆さんは、更別運動広場で小型ポンプ操法などを実施後、社会福祉センターへ移動し模擬火災訓練で放水するなど機敏な動作を披露、また、更別市街地で分列行進をするなど日頃の訓練の成果を発揮しました。

1 更別運動広場で整列。2 手際よくポンプをつなぎ機敏な動きを見せた小型ポンプ操法。3 火災を想定した模擬火災訓練。4 更別市街地での分列行進。5 今年は数年ぶりに幼稚園と保育園の園児も行進に参加、終了後は記念撮影をしました。



# 令和5年春の叙勲

## 瑞宝双光章

おた ともり  
太田 智範さん



「永きにわたり消防団員および団長として尽力された功績が認められ太田智範さんが瑞宝双光章を受章されました。太田さんは、昭和50年4月に消防団員となり、平成15年4月から令和2年3月までの17年間、消防団長を務め、本村の安心安全、生命、財産を守る活動に大きく貢献されました。」  
伝達式は6月19日役場接室で行われ、西山猛村長から勲記と勲章が手渡されました。西山村長は「永年、体を張って先頭に立ち消防団の活動にご尽力いただいたことに感謝いたします。本日はおめでとうございます」と祝福し、太田さんは「このような栄誉をいただき嬉しく思います。団員として45年、団長として17年務めることができたのは皆さんの支援があったからです。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。

奥：左から大野副村長、佐藤副団長 手前：左から西山村長、太田さん、小川団長

## 119番通報に関するお知らせです

怪我や病気、火事などの発生時に救急車や消防車を要請したいときは、現場を特定し現場に一番近い消防署に出動指令をかけることとなりますので、最寄りの消防署などへ電話せず、**局番なしの『119』番をダイヤル**するようにしましょう。また、通報したときは、下記に注意しましょう。

### ● 119番は慌てずゆっくりと通報しましょう

通報時、指令員が必要なことを伺いますので、住所や状況、また通報している方のお名前をお答えください。

- 火事ですか？救急ですか？ → **どちらかを伝えます。**
- 住所はどこですか？ → **現在地を伝えます。**
- 何が（誰が）どうなりましたか？

→ **火事などの場合は何が燃えているのか、救急の場合は病人やケガ人の数や症状を伝えます。**

- お名前は？ → **通報されている方の名前を伝えます。**

### ● 安全なところから通報しましょう

通報している場所に煙や火がせまってきたり、異臭や有毒ガスの臭いが強いなどを確認し、少しでも危険を感じたときは、ただちに電話を切って安全な場所に避難し、安全な場所からもう一度119番通報してください。

詳しくは

とかち広域消防事務組合の119番通報ホームページを確認ください。

<http://www.fire-tokachi.hokkaido.jp/119.html>





## 運動会 & 体育祭

6/11 上更別小学校・幼稚園合同運動会

6/28 高齢者運動会

5月下旬から6月中旬にかけ、体育祭や運動会が開催されました。なお、更別中央中学校体育祭および更別小学校運動会は表紙に掲載しています。



各課・施設の電話/メールアドレス → 総務課 ☎ 52-2111 ✉ soumu@sarabetsu.jp  
 → 企画政策課 ☎ 52-2114 ✉ kikaku@sarabetsu.jp



左から富士子さん、豊さん、西山村長

賞状を受け取る豊さん

文部科学省では科学技術に関する研究開発、理解増進等に顕著な成果を収めた方を「科学技術分野の文部科学大臣表彰」として顕彰しており、このたび吉田さんと九州大学大学院農学研究院廣田知良教授の研究、業績名『土壌凍結深制御技術の開発による気候変動適応の推進への貢献』が受賞しました。

この研究は、収穫後に残った小さなイモ（野良イモ）が翌年の春先に芽が出て雑草化し、手作業での除去作業が体に負担がかかることから、初冬に畑の雪を除草（雪割り）し畑の表面近くのイモを死滅させる技術を開発したもので、当時、農研機構（札幌市）で勤務されていた廣田教授が吉田さんの雪割りを知り、更別へ視察に訪れ、菜もまかず、自然に優しい作業に関心を持たれたことが始まりとのこと。その後、吉田さんと廣田さんは凍結深度などを調査研究、この20年、研究を続けています。

表彰を受け吉田さんは「20年以上前、野良イモに困りそれをどうにかしようと思ったことがきっかけ。廣田さんや関係機関、地域の皆さんの協力があり、今回、このように評価をいただけました。農業は不自由を感じたら進歩します。まだまだやりたいことがあるので頑張っていきたい、妻の富士子さんは「足腰が辛く大変な作業だったので雪割りは助かりました。地域の女性の声も後押ししたと思います」と話され、西山村長は「おめでとございませう。村として誇りに思います」と受章を祝福しました。

# 受章

## 科学技術分野の 文部科学大臣表彰

よしだ ゆたか  
吉田 豊さん



## 夢大地さらべつ推進委員を 紹介します

夢大地さらべつ推進委員会は、更別村総合計画と更別村まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定や関連計画に広く村民のみなさんの意見を反映し、村民参加による村づくりを進めるための地方自治法の規定に基づいた委員会です。6月1日より新たに委嘱された委員のみなさんを紹介いたします（任期は2年間）。

### ★公益代表委員

- 中井 勝則（更別村農業協同組合）
- 太田 雄基（更別村商工会）
- 濱口千恵子（更別村社会福祉協議会）

### ★学識経験委員

- 高畑 昭子（社会福祉法人更別どんぐり福祉会）
- 江本 信吉（特定非営利活動法人どんぐり村サ拉里）



ホームページ  
QRコード

現在、公募委員を募集中です。  
村内の18歳以上の方ならどなたでも応募できますので、ぜひ、ご応募ください。  
応募用紙は企画政策課へ取りにきていただくかホームページからダウンロードください。

- 岡田由美子（更別村農業協同組合女性部）
- 吉田 昭一（更別村PTA連合会）
- 高橋 純（日本労働組合総連合会更別地区連合会）
- 山内いち子（更別村商工会女性部）
- 山上 文博（更別村小中学校校長会）
- 神成 哲也（更別郵便局）
- 水野 洋平（帯広信用金庫中札内支店）

### ●問い合わせ

企画政策課政策調整係 ☎ 52-2114



6/10 笑いで学ぶ 成年後見制度講演会開催

老人保健福祉センターを会場に、社会福祉協議会主催の「笑いで学ぶ成年後見制度」講演会が青空一風氏を講師に開催、35名が楽しく学びました。一風さんは芸人として活動するほか、東京都足立区の市民後見人として活動中。「祖父の認知症がきっかけで成年後見制度を知り、その後、縁あって足立区の講習を受け現在は市民後見人として活動しています。認知症になると入院の手続きなど日常生活に支障がでます。そんなとき、手助けできる制度です。皆さんも制度を知り活用を」と語りかけました。



6/6 しっかり学ぼう 保育園で交通安全教室開催

どんぐり保育園で交通安全教室が開催され、園児が信号の見方や横断歩道の渡り方を学びました。川原交通安全指導員の交通ルールの説明のあと、模擬信号機を使い横断歩道を渡る訓練をしました。木下駐在所長は「今日はとても上手に横断歩道を渡ることができました。車は急に止まることができないので、道路を渡る時は左右を確認し、手をあげ、運転手さんの顔を見て、道路を渡っていることがわかるようにしましょう」と話しました。



5月30日、毎年実施している更別農業高等学校と更別小学校児童の花いっぱい運動の交流に合わせ、今年も「人権の花」運動が実施されました。人権の花運動は、法務省人権擁護局が1982年から実施している啓発活動で、十勝管内では、釧路地方法務局帯広支局と帯広人権擁護委員協議会が主催し、今年も更別小学校で実施されました。寄贈式では、本村の人権擁護委員及川末雄さんと梶幸子さんから児童会役員へ目録が手渡され、寄贈の後は、小学生がこの日のために考えたデザインのとおり更別農業高等学校生が育てた花苗を植栽しました。



6/13 「お・は・し・も」を意識して 幼稚園で避難訓練実施

更別幼稚園では、火災が発生したことを想定し避難訓練が実施。非常ベルが鳴ると担任教諭の誘導のもと園児たちは口を押さえながら園庭に避難。消防署員からは「皆さん上手に避難していました。お出かけしたときなど、災害はいつあかわからないので、今日のことを思い出し、絶対に戻らず避難してください」と話がありました。訓練のあとは、園児は子供用の防火服を身にまとい放水体験を、また、職員は消火器での消火訓練をし、日頃からの備えを確認しました。※おはしもとは、「押さない・走らない・しゃべらない・戻らない」こと。



6/12 今年も彩りあざやかに 花いっぱい運動実施

今年も5月下旬より、環境美化推進協議会（霜野敬夫会長）と村が共催で実施している花いっぱい運動が行われ、更別農業高等学校の生徒たちが育てた花苗約2万株が各行政区や学校、公共施設で植栽されました。また、平成18年度から実施している役場前通り中央分離帯への植栽には135名が参加し、「協力いただきありがとうございます。きれいになった村でアピールしましょう」との霜野会長のあいさつでスタート。30分程度で、花苗5,000本がきれいに植えられました。



6/1 力強く育った体を披露 更別村和牛共進会が開催

和牛の改良の成果確認を目的に、更別和牛改良組合主催の第11回更別村和牛共進会が、更別東区のアシタカ農事跡地で開催され、月齢ごとに第1部7頭、第2部7頭、第3部6頭が出品されました。審査は月齢に応じた姿・形によるかたつきの良さやバランス、体の幅や体上線の強さなどでされ、審査員を務めた十勝農業協同組合連合会の山中調査役は「全体的に良く、昨年の全国大会でも成果が出ています。北海道十勝で開催される全国和牛共進会まであと4年。更なる改良を続けてください」と講評を述べました。



5/25 子どもたちの健全育成のために どんちゃんLC会が寄付

農村環境改善センターで、どんちゃんLC会（神成哲也会長）からスポーツ少年団本部への活動助成として寄付金が手渡されました。神成会長は「新型コロナウイルス感染症も5類へ移行となり、子どもたちのスポーツ活動も活発化し、各大会での活躍を期待しているところです。子どもたちの健全育成活動に活用してください」と述べ、スポーツ少年団本部会長の森田譲さんは「子どもたちの活動へ使わせていただきます。ありがとうございます」とお礼を述べました。

# 村からのお知らせ

## Information from the Village



### 各種アイコンの説明

📢 = お知らせ 🏠 = 健康・福祉 👤 = 募集 💰 = 税金 📄 = 国民年金

日とき 所場所 対対象 料料金  
 定定員 申申し込み 問問い合せ  
 ☎電話番号 ☎ファクス ✉メールアドレス

行政に対するご意見やご要望などを、ハガキ・Eメールなどでお寄せください。  
 ※ハガキは3か月ごとに広報紙へ折り込みしています。

### お知らせ

#### 女性のための 人権なんでも相談所

セクハラやDV、職場での男女差別など、人権に関する困りごとや心配ごとがあればお気軽にご相談ください。人権擁護委員が相談をお受けし、秘密は厳守します。  
 7月12日(水)、9月12日(火)、11月15日(水)  
 各日とも13時から15時30分まで(最終受付15時)  
 所とちかち広域消防局総務課(帯広市西4条南13丁目1)  
 女性の方のみ  
 無料  
 事前予約不要  
 帯広市人権擁護委員協議会  
 ☎24・58553

#### 7月17日は 北海道みんなの日

7月17日は北海道の価値を見つめ直し、これからの北海道を考える「北海道みんなの日」です。1869年、北海道の名付け親とされる松浦武四郎が明治政府に「北加伊道(ほっかいどう)」という名称を提案した7月17日は「北海道みんなの日」、愛称「道みんなの日」です。北海道の魅力と

#### 自筆証書遺言書保管 制度をご存じですか

ご自身で作成した遺言書が紛失したり、勝手な書換えが行われることを防止するために、法務局に遺言書を預けることができます。また、遺言者がお亡くなりになった場合には、あらかじめ指定した相続人等に、法務局が遺言書をお預かりしていることをお知らせすることができます。詳細

#### 北海道電力からの お知らせ

今年6月1日から電気料金の値上げを実施させていただきました。厳しい経済情勢において、お客さまに一層のご負担をおかけすることにつきまして、深くお詫び申し上げます。なお、電気料金以外の供給条件につきましては、来年2月より(ペーパーレス化推進の取組による振込票発行の有料化など)一部見直しの実施を予定しております。ご不便をおかけいたしますが、ご理解をよろしくお願いいたします。詳しくはお問い合わせください。



北海道電力株式会社  
 ☎0120・700・689  
 (平日9時~17時)

#### 地震防災対策の 住民アンケート実施

地震防災対策では、減災目標の達成を目指し、地域の特

### 税金

#### 消費税および地方消費税の 中間申告と納付について

個人事業者の方で令和4年分の確定消費税額が48万円を超える方は、消費税および地方消費税の中間申告と納付が必要です。  
 中間申告は、前年実績による中間申告と、仮決算に基づく中間申告のいずれかにより行うことができます。  
 詳しくは、国税庁のホームページをご覧ください。  
 帯広税務署  
 ☎24・2161

#### 納期限のお知らせ

固定資産税第1期と国民健康保険税第1期の納期限は、7月31日(月)です。  
 納税には、便利で確実な口座振替をご利用ください。  
 住民生活課税務係  
 ☎52・2112

性に応じて、対策が進められているところですが、このたび、内閣府では、今後の防災対策に向けて、皆さまの声を反映させるための避難意識等に関する調査を実施します。  
 一人でも多くの方にご回答いただきたく、ご協力をお願いします。  
 回答フォーム  
<https://en.surece.co.jp/kaiko2023/>



●実施期間  
 令和5年7月~8月予定  
 ●注意  
 ・回答は一人1回  
 ・一時保存不可  
 内閣府政策統括官(防災)  
 ☎03・3501・6996

#### サマージャンボ宝くじ 発売中

宝くじの収益は、市町村の住みよいまちづくりに使われています。パソコンやスマホからネット購入できます。  
 ●発売期間  
 8月4日(金)まで  
 ●抽選日  
 8月18日(金)  
 公益財団法人  
 北海道市町村振興協会  
 ☎011・2322・0281

### 募集

#### とちかち広域消防事務組合 消防職員採用について

令和6年4月1日採用予定の消防職員を募集します。  
 申込前に必ず試験案内で受験資格と申込方法を確認ください。なお、試験案内は7月24日(月)より、とちかち広域消防局総務課、十勝管内各消防署、帯広市役所1階総合案内で配布予定のほか、ホームページへ掲載予定です。  
 高校を卒業した方(見込含む)申込方法や試験日時などは、試験案内で確認ください。



とちかち広域消防局総務課  
 ☎26・9121

#### 普及職員(農業)の 受験者募集について

北海道では試験研究や農業関係団体などと連携し、農業の生産性向上、農業経営や農村生活の改善などに関する技術や知識を農業者に普及指導する普及職員(農業)を募集

### 国民年金

#### 国民年金保険料の免除・ 猶予期間がある方へ

経済的な理由などで国民健康保険料の免除や猶予の承認を受けた期間がある場合は、保険料を全額納付した場合と比べて、老齢基礎年金の受取額が少なくなります。後から納付できる「追納制度」によって、将来受け取る額を増やすことができ、また、社会保険料控除により所得税・住民税

します。令和5年度の採用試験日程は次のとおりです。  
 ●A区分  
 8月14日(月)から8月24日(木)まで  
 見込含む  
 大学等を卒業した方(卒業見込含む)  
 8月14日(月)から8月24日(木)まで  
 10名  
 A区分の試験は農業に関する専門知識の面接のみ。  
 C区分  
 民間企業経験有りの方  
 7月31日(月)から8月10日(木)まで  
 13名  
 詳細はホームページを確認ください。  
 北海道農政生産振興局  
 技術普及課  
 ☎011・204・5379

しくは、法務省ホームページまたはお問い合わせください。  
 釧路地方務局帯広支局  
 ☎24・5823

おうちで予防ごはん  
～今月のレシピ～

きゅうりには、塩分をからだの外に排出する効果のあるカリウムが豊富に含まれています。夏場は麺類を食べる機会が増える傾向にあり、塩分過多になりやすい時期なので、減塩も大切ですが、カリウムの多く含まれている食材を摂ることもおすすめです。

きゅうりの梅和え

◆材料（4人分）

きゅうり2本、梅干し2個、ポン酢大さじ1、鶏がらスープの素小さじ1/2、ごま油小さじ1、白いりごま小さじ1、かつお節1袋

<つくり方>

- ①きゅうりは両端を切り落とし、両面に斜めに切り込みを入れ、食べやすい大きさに切る。
- ②梅干しは種を取り除き、包丁でたたく。
- ③ボールに刻んだ梅干し・ポン酢・鶏がらスープの素・ごま油・かつお節を入れて混ぜ合わせる。
- ④きゅうりと③を混ぜ合わせ、30分から1時間程度なじませ、最後に白いりごまをかけたらできあがり。



1皿分  
カロリーー 28kcal  
塩分 0.8g 食物繊維 0.7g

●問い合わせ 保健福祉課保健推進係 ☎ 53-3000  
管理栄養士 小田 いつみ



防災さらべつメール

防災行政無線の内容をメールで配信中  
QRコードを読み取るか下記にアクセスください  
<https://plus.sugumail.com/usr/sarabetsu/home>

北海道 更別村  
Facebook&Instagram  
QRコードを読み取って  
フォローをしてみよう!

令和5年 8月21日予定 十勝バスの減便・時刻変更



十勝バス株式会社より、広尾線のダイヤ改正（減便・時刻変更）の連絡がありましたので、お知らせします。  
減便の内容→平日往復が14便から12便へ、土日祝祭日往復が10便から8便へ減便。  
時刻変更の内容→下記のとおり時刻が変更となります（スクール便は変更なし）。  
\*□の便は、今回のダイヤ改正で変更となる便です。なお、記載の時刻は7月3日時点の予定時刻です。

往路（帯広駅ターミナル発→広尾営業所行）

■土曜日・日曜日・祝祭日運休

| 主な停留所      | ■    | ■    | ■    | ■     | ■     | ■     | ■     |
|------------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| 帯広駅バスターミナル | 6:02 | 6:32 | 7:15 | 10:05 | 12:20 | 13:20 | 14:30 |
| 北高・北斗病院前   | 6:26 | 6:56 | 7:42 | 10:32 | 12:47 | 13:47 | 14:57 |
| 中札内        | 6:59 | 7:29 | 8:15 | 11:05 | 13:20 | 14:20 | 15:30 |
| 更別         | 7:12 | 7:42 | 8:28 | 11:18 | 13:33 | 14:33 | 15:43 |
| 上更別        | 7:22 | 7:52 | 8:38 | 11:28 | 13:43 | 14:43 | 15:53 |
| 忠類         | 7:35 | 8:05 | 8:51 | 11:41 | 13:56 | 14:56 | 16:06 |
| 大樹西本通り     | 7:45 | 8:15 | 9:01 | 11:51 | 14:06 | 15:06 | 16:16 |
| 広尾         | 8:21 | 8:51 | 9:37 | 12:27 | 14:42 | 15:42 | 16:52 |

| 主な停留所      | ■     | ■     | ■     | ■     | ■     |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 帯広駅バスターミナル | 15:30 | 16:35 | 17:40 | 19:05 | 20:20 |
| 北高・北斗病院前   | 15:57 | 17:02 | 18:07 | 19:32 | 20:47 |
| 中札内        | 16:30 | 17:35 | 18:40 | 20:05 | 21:20 |
| 更別         | 16:43 | 17:48 | 18:53 | 20:18 | 21:33 |
| 上更別        | 16:53 | 17:58 | 19:03 | 20:28 | 21:43 |
| 忠類         | 17:06 | 18:11 | 19:16 | 20:41 | 21:56 |
| 大樹西本通り     | 17:16 | 18:21 | 19:26 | 20:51 | 22:06 |
| 広尾         | 17:52 | 18:57 | 20:02 | 21:27 | 22:42 |

更別スクール便、  
中札内スクール便  
に変更は  
ありません

復路（広尾営業所発→帯広駅ターミナル行）

■土曜日・日曜日・祝祭日運休

| 主な停留所      | ■    | ■    | ■    | ■     | ■     | ■     |
|------------|------|------|------|-------|-------|-------|
| 広尾         | 5:29 | 6:10 | 7:02 | 8:13  | 9:57  | 10:57 |
| 大樹西本通り     | 6:02 | 6:43 | 7:35 | 8:46  | 10:30 | 11:30 |
| 忠類         | 6:18 | 6:59 | 7:51 | 9:02  | 10:46 | 11:46 |
| 上更別        | 6:28 | 7:09 | 8:01 | 9:12  | 10:56 | 11:56 |
| 更別         | 6:38 | 7:19 | 8:11 | 9:22  | 11:06 | 12:06 |
| 中札内        | 6:50 | 7:31 | 8:23 | 9:34  | 11:18 | 12:18 |
| 北高・北斗病院前   | 7:21 | 8:02 | 8:54 | 10:05 | 11:49 | 12:49 |
| 帯広駅バスターミナル | 7:52 | 8:33 | 9:25 | 10:36 | 12:20 | 13:20 |

| 主な停留所      | ■     | ■     | ■     | ■     | ■     |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 広尾         | 12:57 | 14:27 | 15:57 | 17:27 | 18:42 |
| 大樹西本通り     | 13:30 | 15:00 | 16:30 | 18:00 | 19:15 |
| 忠類         | 13:46 | 15:16 | 16:46 | 18:16 | 19:31 |
| 上更別        | 13:56 | 15:26 | 16:56 | 18:26 | 19:41 |
| 更別         | 14:06 | 15:36 | 17:06 | 18:36 | 19:51 |
| 中札内        | 14:18 | 15:48 | 17:18 | 18:48 | 20:03 |
| 北高・北斗病院前   | 14:49 | 16:19 | 17:49 | 19:19 | 20:34 |
| 帯広駅バスターミナル | 15:20 | 16:50 | 18:20 | 19:50 | 21:05 |

これまでより2便減便し、  
運行時刻が変更となる便  
がありますので、ご注意く  
ださい。

●問い合わせ  
・十勝バス株式会社  
☎ 37-6500  
・企画政策課  
地域開発係  
☎ 52-2114

このトキ  
キタリ

JAさらべつ農産課販売係  
おおばみらい  
大場未来さん（帯広市出身）

広報さらべつでは村で活躍している方や頑張っている方を紹介しています。今月号では、JAさらべつ農産課で元気に勤務している大場さんにインタビューしてみました。仕事に真摯に向きあう大場さんをご紹介します。

★更別村のお気に入りとは？

自然豊かでさまざまな動植物が生育しているところ。珍しい鳥などを見つくとつい足を止めてしまいます。

★あなたの趣味は？

ドライブです。片道250kmくらいなら日帰り圏内です。

★どのような仕事をしていますか？

組合員さんから委託を受けた農産物を販売することや、圃場巡回、輸送手配、販売先との連絡を行なっています。

★地域の皆さんへメッセージをどうぞ！

農協は生産者の方のための組織というイメージがありますが、アスパラやメークインなど一般の方に販売している作物もあります。村民の皆様ぜひ地場の味覚を味わっていただければと思います。



役場でアスパラ  
を販売中



圃場巡回を  
しているところ

各課・施設の電話/メールアドレス → とかち広域消防事務組合更別消防署 ☎ 52-2201 ✉ syoubou@sarabetsu.jp

各課・施設の電話/メールアドレス → 教育委員会 ☎ 52-3171 ✉ kyoui@sarabetsu.jp  
→ 子育て応援課 ☎ 53-3700 ✉ kosodate@sarabetsu.jp



**卓球部**  
高体連を振り返って  
私は、高校3年間卓球部に所属しました。入部して一年目は人数もたくさんいましたが、今年は7人での活動でした。高体連を振り返って感じたことは、帯広市内の高校や強豪校とは、試合をしている数が天と地の差でした。どれだけセンスがあるかが、踏んでいる場数が違うので圧倒されました。ですが、シングルスで1勝することができ、3年間の部活でやってきたことが報われたと感じました。私たち3年生が部活を引退しましたので、気になる人はぜひ卓球部への入部をお願いします。



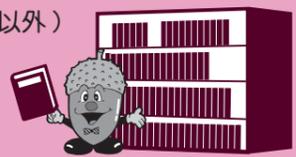
**サッカー部**  
高校最後の大会である高体連に、合同チームで3年間練習してきた上幌高校、清水高校と大会に参加させていただきました。平日は、一人での自主練習や顧問の先生と二人での練習をし、合同チームの練習は休日でした。合同チームでも人数が少ないため、怪我をしないように集中して取り組み、メンバーも少しずつコミュニケーションが取れるようになりました。高体連当日、私は最後の大会に緊張していましたが、顧問の先生から「今までやってきたことをやるだけ。まず、楽しむように」と言っていたので緊張がほぐれ「頑張って楽しんでくるか」と思うことができました。会場は昔更町のキックロス。人工芝で非常に恵まれた環境でした。帯広三条高校との試合は、0対10の結果は惨敗で悔しかったです。自分のためになる、とても楽しい試合でした。この試合は一生忘れられない良い思い出となりました。最後に、これまで応援してくれた皆様、ありがとうございました。

# 更別農業高校 ニュース

更別村農村環境改善センター図書室だより

## 本ごよみ

開館時間 9時30分～18時00分  
休館日 火曜日および祝祭日(日・月・土以外)  
住所 更別村字更別南2線96番地11  
農村環境改善センター内  
電話 52-3171



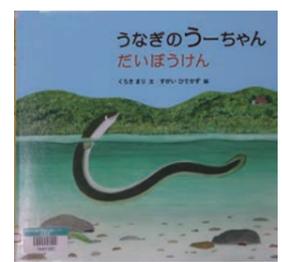
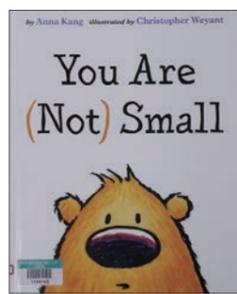
### 今月の展示

- 一般書コーナー 『夏休み読書の本』
- 児童書コーナー 『海のえほん』



### 今月の読みきかせ

- 7月15日(土) 11時00分～11時30分
- 『You Are (Not) Small』 (英語で読みきかせをします)
  - 『うなぎのうーちゃんだいぼうけん』



### 第1回ジョイさんの読み聞かせ

今年度から更別で活動しているALT(外国語指導助手)ジョイさんによる英語の絵本の読み聞かせを図書室で開催します。ぜひお越しください。  
■期間 7月21日(金) 15時30分～

## 新着図書案内

**今月のおすすめ本**  
『それ、数学で証明できます。』  
北川郁馬 / 著  
You Tubeチャンネル『ナゾトキラボ』の投稿を書籍化した一冊。



### えほん

- かまごころぼう (桂 文我)
- キスなんて (トニー)
- だいきらい (ウングラー)
- つきよみ(ごようじん) (斎藤 浩誠)
- だれのせい? (タビテ・カリ)
- ほくってステキ? (フアン)
- わこおいえでする(杉浦 やす)
- ほくのスカート (ピーター・ブラウン)
- びよん (内田 麟太郎)
- すしねずみ (はらべこめがね)
- うまれたこねこ (エウア・ヴォルフオヴァー)

### 児童文学・学習書ほか

- 学校じゃれ大爆笑 (ながた みかこ他)
- てんこちゃん (ほそかわ てんてん)
- がっこうの (ほそかわ てんてん)
- わたしの宝もの (富安 陽子 他)
- アンニンちゃんとパオス (堀川 理万子)

### 文学・一般書

- 60代、かるやかに暮らす (岸本 葉子)
- がらんと (大谷 朝子)
- 羽毛恐竜完全ガイド (田中 編集部)
- 村田喜代子の本よみ講座 (村田 喜代子)
- からだの美 (小川 洋子)
- 女の背ほね (佐藤 愛子)
- 最高のリターンを (西野 精治 他)
- もたらす超・睡眠術 (會野 綾子)
- 幸福は絶望とともにある (會野 綾子)
- 日本人の愛したお菓子たち (吉田 菊次郎)
- 13歳から分かる! 道は開ける (藤屋 伸二)
- 90歳おいてますます (樋口 恵子 他)
- 日々新た (夢眠書店の絵本棚(夢眠 ねむ))
- それを世界と言っただね (綾崎 隼)
- 毎日ガビカピカになる「水まわり」の洗いかた (お掃除職人 きよきよ)

## はたち二十歳を祝う会の実行委員を募集します

令和6年1月開催予定の『令和6年二十歳を祝う会』で式典の進行・運営を担当する実行委員を募集します。

実行委員になって、思い出に残る式典の企画をしてみませんか?

ご応募お待ちしております。

※令和5年より「成人式」ではなく『二十歳を祝う会』に名称を変更しました。

- ◆対象 平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた方
- ◆応募期間 7月10日(月)～9月29日(金)まで
- ◆実行委員のスケジュール  
10月 第1回実行委員会(予定)  
1月 リハーサル(式典の前日)



●問い合わせ 教育委員会社会教育係 ☎ 52-3171

## 2023 全日本ママチャリ耐久レース 8月11日(金)開催決定!

START 9:00  
GOAL 15:00  
6時間耐久



開催25回目を迎えたママチャリ耐久レース。今年も参加者受付が開始しました。真剣に順位を競う耐久レース。"ママチャリ"で非日常の空間を楽しむことができます。参加募集期間は7月31日(月)までとなりますので、お早めに申し込みください。申し込み方法など詳しくは、十勝スピードウェイホームページを確認いただくか事務局までお問い合わせください。

- ◆参加料 1チーム5,000円～28,000円 ※クラスにより変動
- ◆入場料 高校生以上1人1,000円 ※レースの参加有無に関わらず必要

●問い合わせ ママチャリ耐久レース実行委員会 (十勝スピードウェイ内) ☎ 52-3910

6月1日付  
派遣職員

### 企画政策課

主事

品田  
しなだ

亮太  
りょうた  
さん



前任地：胆振総合振興局地域政策係  
出身：札幌市  
担当：スーパービレッジ推進室  
趣味：旅行  
北海道庁から派遣で参りました。  
念願の十勝での生活を楽しみながら、  
仕事を頑張りたいと思いますので、  
よろしくお願ひいたします。

## 戸籍の窓口

誕生おめでとう

お悔み申し上げます

## 地域安全ニュース

■更別村の交通死亡事故死ゼロ記録  
1,830日(6月30日現在)

■地域安全運動のお知らせ  
『夏の交通安全運動が実施されます』

7月13日から22日まで、夏の全国交通安全運動が実施されます。また、7月13日は飲酒運転根絶の日となりますので、「飲酒運転をしない、させない、許さないそして見逃さない」という意識を持ち、交通安全に努めましょう。

## 人事異動のお知らせ

7月1日付の人事異動をお知らせします。

### ◆更別村人事

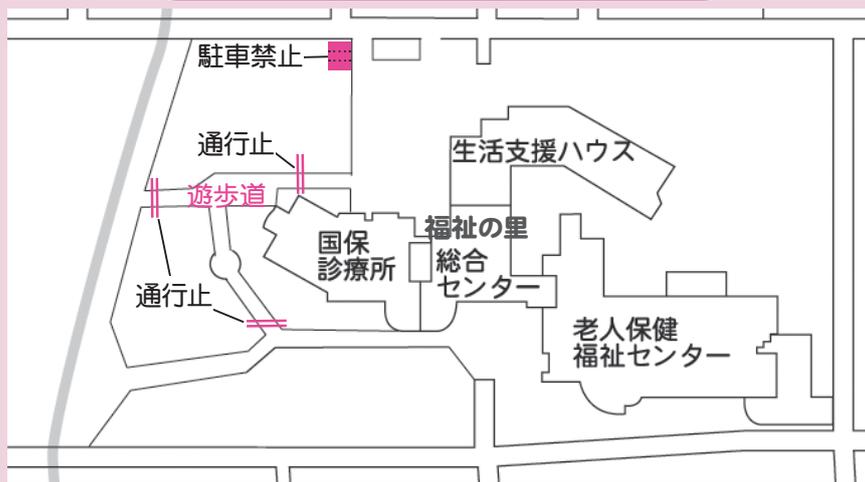
◇企画政策課スーパービレッジ推進室主幹(地域活性化起業人制度による派遣) **新谷 卓也**

6/19  
6/21  
**SPORTS**  
行政区対抗  
ソフトボール選手権大会  
●優勝 旭区  
●2位 更別区  
●3位 勢雄区  
●3位 市街地

6/5  
6/27  
更別村あさ野球  
選手権大会  
●優勝 役員  
●2位 T場  
●3位 農協  
●4位 R S



## 国保診療所から お知らせします



国民健康保険診療所の増改築工事に伴い、7月から工事終了予定の来年2月末ころまで、診療所周辺の遊歩道が通行止めとなりますので、お知らせします。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

●問い合わせ  
国保診療所 ☎ 52-2301

## 人の動き

2023年6月1日現在

※()内の数字は前月比



総人口  
3,138人  
(-4人)



男性  
1,533人  
(-6人)



女性  
1,605人  
(+2人)



世帯数  
1,365世帯  
(-2世帯)

